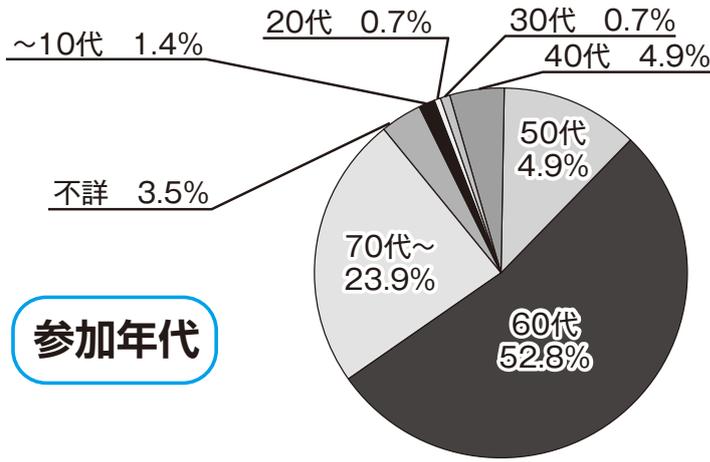
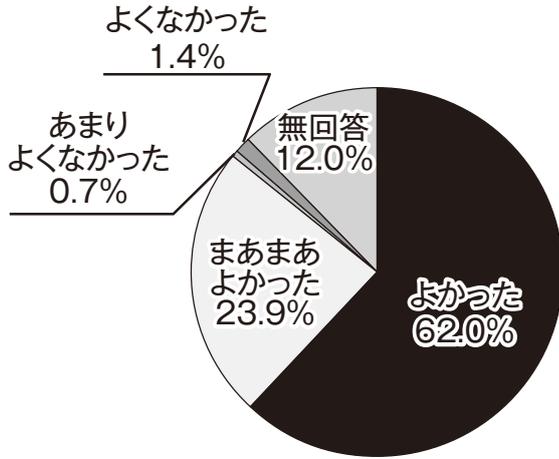


人権講演会 アンケートより

2月3日に開催しました人権映画会「武士の家計簿」に参加された方々からご協力いただいたアンケート結果の一部をご紹介します。



● 今回の講演はいかがでしたか



■ 感想

○ 昔の親の教え今も通じていると思う。若い人にも見てもらいたいと思った。

70代 女性

○ 若い人に見て貰いたい。物を大事にしたり勿体ないと云う事。もっと理解してほしい。

70代 男性

○ 筋の通ったブレない生き方に感動しました。

70代 女性

○ 昔の戦争や終戦のような事も思った。ソロバンは私も家計簿五十年あまり付けてあるので月末には使う。今日のような五ツ玉。

70代 女性

○ 家計を預かる身として、少々耳の痛い事もあったが、大いに賛成できる映画でした。

70代 女性

○ 主人公が信条を貫いたことに尊敬します。子育てについても考えさせられることが多々ありました。

60代 女性

○ 家族の絆が感じられるよい作品でした。

○ 教育って大切だなと思った。子を思わぬ親がないが、誠実に丁寧に子に接していく事の大切さを実感した。

60代 男性

○ 父から子に対する愛情、厳しさ、家族の愛があふれていました。父や母を思い出しました。今後も家族を守って行きたいと思います。

60代 男性

○ とても感動したし、面白い場面もあって、とても良い映画でした。

10代 男性

映画会のお知らせ

◇ 「ラストゲーム ～最後の早慶戦～」
とき／3月16日(土) 午後6時30分～ ところ／きびドーム

太平洋戦争戦時下「野球は敵国アメリカのスポーツだ」と六大学野球が廃止。さらに学生に対する徴兵の猶予が停止、若者達は戦地へと赴くことに。「二度と帰れないかもしれない若者たちに生きた証拠を残してやりたい」と、慶應義塾塾長の小泉信三などにより遂に幕を開ける早慶戦。それは、別れであると同時に、明日への希望に満ちたゲームだった…。

※入場協力券が必要です。

○おとな／500円 ○こども(小・中学生)／200円



■ 人権に関するお問い合わせ

金屋庁舎 社会教育課

TEL 52-2111
FAX 32-4827